

新型コロナウイルス感染症対策 予算総括表

○補正第1、2号 200,000 千円

＜財源内訳＞一般財源（財政調整基金繰入金） 200,000 千円

（単位 千円）

項 目	補正第1、2号
1 感染症予防対策のための取組	—
2 暮らしを支えるための取組	—
3 雇用を維持するための取組	20,000
4 企業の業績悪化対策等のための取組	40,000
5 こども、学校のための取組	—
6 観光等反転攻勢のための取組	140,000
合 計	200,000

新型コロナウイルス感染症に係る支援について（補正予算第1号）

対策1 金融支援

市の制度融資資金（5億円預託。4倍協調で20億円枠）を有効活用し、資金繰りに窮する市内中小企業の救済を図る。

低利（0.7%）・無担保（ただし信用保証は必要）の条件に加え、利子補給を行うことで、**実質「3年間無利子」**とする。

(1) 支援の対象者 「セーフティネット保証4号」及び「危機関連保証」対象者（※後述）

(2) 支援の内容 豊岡市中小企業融資に「新型コロナウイルス対策融資（長期）枠」を新設。
同枠の利用者に、当初3年間、利子額を補助（利子補給）する。

豊岡市 中小企業 融資制度		短期融資	長期融資		長期融資(新型コロナ ウイルス対策)
	融資限度額	短期・長期あわせて1企業2,000万円まで			同左
	融資利率	年1.4%	年1.6%	年1.7%	年0.7%
	融資期間	1年以内	1～5年	5～10年	1～10年
			1年以内据置		同左
	資金用途	運転資金・設備資金			同左
	信用保証	兵庫県信用保証協会の保証（年0.8%）			同左
担保	無担保			同左	

(3) 支援期間 2020年4月1日融資受付分から2021年3月31日融資実行分までを対象

(4) 予算規模 利子補給金 2020年度 30,000千円（3年総額 90,000千円）

(5) 取扱金融機関 但馬銀行、みなと銀行、山陰合同銀行、
但馬信用金庫、たじま農業協同組合、兵庫県信用組合

(6) 問合せ先 豊岡市 環境経済部 環境経済課

対策2 企業支援

収束を見据え、事業改善や生産性向上等に着手する事業者を「ステップアップ支援補助金」で支援する。

(1) 支援の対象者 市内で事業を営む中小企業等

(2) 支援策の内容 ステップアップ支援補助金の拡充 +10,000 千円
(現計予算 20,000 千円 → 30,000 千円へ)

【補正額 (第 1 号)】 対策 1 + 対策 2 = 40,000 千円
(+ 2021 年度～2023 年度 債務負担行為 60,000 千円)

【用語解説】

1 セーフティネット保証 4 号

(1) 制度の内容

「中小企業信用保険法」に基づく資金繰り支援のしくみ。「4号」とは、同法第2条第5項第4号の規定を指す。経営の安定に支障が生じている中小企業者を、一般保証（最大2.8億円）とは別枠の保証の対象とする。

○セーフティネット保証 4 号（地域指定）

保証の内容	幅広い業種で影響が生じている <u>地域</u> について、一般枠とは別枠（最大2.8億円）で <u>借入債務の100%を保証</u>
地域指定状況	全都道府県が指定済み（現在の指定は2020.6.1まで）
事業者の条件	売上高が前年同月比 <u>△20%以上減少</u> 等の場合

(2) 手続きの流れ

- ・対象となる中小企業者は、本店所在地の市区町村〔豊岡市〕に認定申請を行う。
- ・市は内容を審査し、認定書を発行する。
- ・希望の金融機関又は最寄りの信用保証協会に認定書を持参し、保証付き融資を申し込む。

2 危機関連保証

(1) 制度の内容

同じく、中小企業信用保険法第2条第6項の規定を指す。特定の事象により著しい信用の収縮が全国的に生じている場合の措置。

○危機関連保証（事象指定）

保証の内容	突発的に生じた大規模な経済危機 <u>事象</u> について、一般枠、セーフティネット枠とは別枠（最大2.8億円）で <u>借入債務の100%を保証</u>
指定状況	新型コロナウイルス感染症事案を指定（現在の指定は2021.1.31まで）
事業者の条件	売上高が前年同月比 <u>△15%以上減少</u> 等の場合

(2) 手続きの流れ 同上

新型コロナウイルス感染症に係る支援について（補正予算第2号）

市内中小企業の経営安定化を図るため、**商工団体（豊岡商工会議所、豊岡市商工会）と連携し、相談体制の充実や助成金申請等の手続きへの支援**を行う。

1 支援の対象者 市内中小企業等

2 支援の内容

- (1) 「緊急経営相談会」「緊急労務相談会」のきめ細やかな開催
- (2) 「雇用調整助成金」等の申請にかかる事務的サポート（社会保険労務士等の専門家による指導を含む）

3 支援の手法 商工団体（豊岡商工会議所、豊岡市商工会）への業務委託

※「中小企業等経営安定化緊急支援業務」として4/1から1年間委託

4 予算規模 20,000 千円

- | | |
|--------------------------|---------------|
| (1) 緊急経営相談会（7月まで月2回追加開催） | 960 千円 |
| (2) 緊急労務相談会（7月まで月2回追加開催） | 640 千円 |
| (3) 専門家等による個社サポート（100社分） | 8,000 千円 |
| (4) <u>事務費</u> | <u>400 千円</u> |

計 10,000 千円 × 2 団体

5 その他

- (1) 商工団体の会員、非会員を問わず利用可とする。
- (2) 企業の規模（従業員数、資本金等）は問わない。

【参考】事業者等のニーズ（関係分）

- 1 豊岡市商工会「新型コロナウイルスの経営への影響調査」第1回報告書（3/13）
Q7. 行政や支援機関への要望
「迅速かつ正確な関連情報の提供」（1位）、「各種相談機能の充実」（6位）等
（「機動的な貸出及び低利息の適用」（3位）← 緊急支援第一弾で実施）
- 2 豊岡市議会 とよおか市民クラブ緊急提言（3/17）
「国、県にはできない小回りの利いた施策」「スキマの分野に焦点を絞った施策」、
具体的には「相談体制の拡充」「事務手続きの簡素化」等
- 3 豊岡商工会議所「新型コロナウイルス感染症の経営への影響調査報告」（3/19）
Q4. 市が対策事業を実施するにあたり要望
「雇用確保に努力する企業への支援、補助」等

(仮称) 豊岡子ども 30,000 人応援プロジェクト
“豊岡を遊ぼう！”
<新型コロナウイルス感染症の影響に対する反転攻勢事業>

1 事業目的

新型コロナウイルスの感染拡大による悪影響は、本市の多くの産業に及んでおり、特に観光業の落ち込みは深刻な状況である。

また、長期にわたり自宅待機を余儀なくされている子どもたちやそうした子どもを持つ親へも相当なストレスを与えている。

こうした事態に対応するため、全国の子どもたちに豊岡の自然や文化を活かしたアクティビティに加え、本市の強みであるアートに触れる機会を提供することにより、全国から親子を誘客し観光業の活性化を図る。

あわせて豊岡の子どもたちにも同様の機会を提供することにより、様々な体験を通じて元気を取り戻してもらおう。

2 対象 市内の子どもたちと原則、市内に宿泊をする子どもたち
(メインは小中学生を想定)

3 時期 夏休み期間中(市内の子ども向けアクティビティ・クーポンの提供は大型連休以降)を想定。ただし、実際の実施時期については、新型コロナウイルスに関する今後の状況を見て判断する。

4 事業概要

(1) 大交流の実現(観光客向け)

新型コロナウイルスによる観光への打撃に対し反転攻勢し、子どもたちを中心にした豊岡との大交流を実現するため、以下のプレミアム措置を講じる。

ア アクティビティ・クーポンの提供【46,000千円】

市内で提供されているアクティビティを中心とした様々な体験メニューを満喫してもらうため、体験応援クーポンを提供する。

なお、クーポンが利用できる施設等は観光協会を通じ、公募し選定する。

(ア) 対象者 市内に宿泊する小学生及び中学生

(イ) 対象人数 23,000人

(ウ) 応援内容 1人2,000円相当(500円×4枚)のクーポンを提供

※景品表示法の規定により、家族合計10,000円の宿泊につき、一人分のクーポンを配布

イ 質の高いアート体験の提供【48,725千円】

様々なアート体験を通じ、他者と共感する心を育むなど、子どもたちの感性を高める機会を無償で提供する。

(ア) 江原河畔劇場、城崎国際アートセンター、出石永楽館での演劇上演

(イ) 演劇ワークショップの開催

- (ウ) まちなかパフォーマンス「大道芸」の実施
- (エ) 子どもも楽しめるデジタルアートの提供
- (オ) 絵本作家による絵本の朗読会及びサイン会の開催

ウ コミュニケーションプランの設計及び事業周知【17,062 千円】

事業の内容やコンセプトを的確にターゲットに届けるため、情報発信のタイミングや内容、手法などについての全体設計を行う。

また、それに基づいたチラシやウェブサイトの制作、SNS の運用・ウェブ広告及びプレスリリース配信を行うとともに、各種広告媒体を活用した事業周知を行う。

エ 周遊促進アプリの実装実証【3,500 千円】

市内での周遊を促進するためのアプリを試験的に導入する。

参加者にポイントを付与しスタンプラリーの実施や子どもを応援する店舗等の紹介、各種割引メニューを提供する。

オ 地域の特徴を活かした子ども向けコンテンツの組成【10,000 千円】

事業のコンセプトに合致する子ども参加型プログラムの強化又は新設案件を民間の団体や企業から公募、選考し必要な経費の一部を補助する。

〈上限 2,000 千円×5 団体 対象経費の 2/3 以内〉

(2) 市内の子ども応援策

ア アクティビティ・クーポンの提供【14,000 千円】

- (ア) 対象者 市内の小学生及び中学生
- (イ) 対象人数 7,000 人
- (ウ) 応援内容 1 人 2,000 円相当 (500 円×4 枚) のクーポンを提供

イ 質の高いアート体験の提供【48,725 千円】(再掲)

- (ア) 江原河畔劇場、城崎国際アートセンター、出石永楽館での演劇上演
(上記に加え、小学校区単位での巡回公演を検討)
- (イ) 演劇ワークショップの開催
- (ウ) まちなかパフォーマンス「大道芸」の実施
- (エ) 子どもも楽しめるデジタルアートの提供
- (オ) 絵本作家による絵本の朗読会及びサイン会の開催

5 全体調整事務費【713 千円】

事業全体の調整に係る事務費

6 総事業費 140,000 千円

豊岡ツーリズム協議会補助金

7 事業実施主体

豊岡ツーリズム協議会

【補正額 (第 2 号)】

20,000 千円 + 140,000 千円 = 160,000 千円